

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371000973
事業所名	グループホーム フレンズハウス草平

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。町内会の祭りや敬老会などの行事には参加して、地域の人との触れ合いや風情を楽しんでいる。日々の散歩で近所の方と挨拶を交わしたり、近隣の方から野菜のお裾分けを頂くなど地域の一人として日常的に交流している。保育園児との交流や中学生の体験学習の受け入れは留まっているが、要請があれば受け入れをしていく方向にある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者、家族代表、学区役員、いきいき支援センターの職員の参加を得て、地域や系列の事業所と合同で2か月に1回開催している。事業所の運営状況や活動内容の報告、町内会から地域や防犯情報などを得た後に、情報の共有や意見交換、課題や問題点などについて意見交換をしている。提案された意見などは、記録して職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区役所の担当部署に書類の提出や手続きの代行等で訪れた際には、入居者の状況の報告や相談、サービスの内容などを伝え直接アドバイスや指導を受けたりしている。窓口で地域の行事などの情報を入手して、運営やケアに活かすように努めている。また保護係が来訪した際には、実情の確認や相談ができる良好な協力関係が保たれている。研修会の案内があれば職員が参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から意見や要望を聴いている。家族からは病院の受診時や届け物で来訪された折に意見や要望を聴くようにしている。また、来訪できない家族には電話や手紙を利用したり、アンケート用紙を同封するなどして意見や要望を聴いている。必要に応じて管理者自ら家庭に訪問することもある。意見や要望などは会議で検討して、ケアや業務の改善に役立てている。ホーム便りを2か月に1回発行し、入居者の日ごろの様子を記載して家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎	○	◎					